

令和5年度

寄居町 教育行政重点施策



男衾中学校

さんの作品「春」 令和4年度第57回郷土を描く児童生徒美術展大里地区 特選



寄居町教育委員会

基本理念

夢と心をはぐくみ 未来を拓く寄居の教育

寄居町教育委員会では、基本理念「夢と心をはぐくみ 未来を拓く寄居の教育」に基づき、5つの具体的な基本目標を定め、その達成に向け、施策ごとに具体的に取り組み、教育行政を推進します。

目指す子供像

心身ともに鍛え、夢に向かって挑戦する
寄居町の子供

基本理念に基づく5つの基本目標

- | | | |
|-----|-----------------------|-----|
| I | 未来を拓く確かな学力の育成 | P 2 |
| II | 豊かな心と健やかな体の育成 | P 6 |
| III | 教職員の資質向上と教育環境の充実 | P 8 |
| IV | 家庭・地域の教育力の向上 | P10 |
| V | 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進 | P12 |

(参考) SDGs 17の目標 (ゴール)

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標 (ゴール) から構成されています。寄居町教育委員会では、教育行政重点施策の各施策をSDGsの各目標に沿うように設定し、達成できるよう積極的に取り組んでいます。



1 貧困をなくそう	1 貧困をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう
2 飢餓をゼロに	2 飢餓をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任、つかう責任	12 つくる責任、つかう責任
4 質の高い教育をみんなに	4 質の高い教育をみんなに	13 気候変動に具体的な対策を	13 気候変動に具体的な対策を
5 ジェンダー平等を実現しよう	5 ジェンダー平等を実現しよう	14 海の豊かさを守ろう	14 海の豊かさを守ろう
6 安全な水とトイレを世界中に	6 安全な水とトイレを世界中に	15 陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	16 平和と公正をすべての人に	16 平和と公正をすべての人に
8 働きがいも、経済成長も	8 働きがいも、経済成長も	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

基本目標 1

未来を拓く確かな学力の育成

施策 1



主体的・対話的で深い学びの実現

取組 1 個別最適な学びの工夫

子供一人一人に応じた指導方法・教材・ICTの利活用、学習活動、学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫します。

【成果指標】ICT活用事例の動画作成本数 【目標値】10本以上

取組 2 協働的な学びの工夫

探究的な学習や体験活動を通じ、児童生徒どうしの学び合いや多様な他者との協働活動を工夫することによって、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す資質能力を育成します。

【成果指標】協働的な学びを取り入れた授業の実施 【目標値】100%

取組 3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

ICTを活用した新たな教材や学習活動等を積極的に取り入れつつ、「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かします。更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげます。

【成果指標】町教育委員会による授業への指導 【目標値】30回以上

施策 2



GIGAスクールの推進（学習用タブレットの活用推進）

取組 1 ICT支援員の配置

小中学校に整備したICT機器等を活用した実践的な指導ができるよう、教員の指導力の向上を図るとともに教職員の働き方改革のため、人的支援を行います。

【成果指標】ICT支援員配置人数 【目標値】各小・中学校1人

取組 2 デジタル教科書の活用推進

デジタル教科書は多くの情報を収集でき、多様な学習ニーズへの対応が可能になり、新たな学びのスタイルが構築できます。動画や音声のコンテンツや拡大・書き込み等の機能を活用することにより、児童生徒の学びを深めるとともに、学びをいっそう充実させます。

【成果指標】デジタル教科書使用率 【目標値】100%

施策 3



確かな学力の育成

取組 1 学力向上推進委員会の充実

児童生徒の学力向上を目的に、寄居町学力向上推進委員会を設置します。学力向上の調査研究、学力向上に係る研修会の開催、町内全体の学力向上に必要な事業、学力向上に係る資料の作成等を実施します。

【成果指標】研修会の実施回数 【目標値】4回以上

取組 2 小中一貫教育の推進

小中一貫教育における各教科の年間指導計画をもとに、各中学校区ごとに小中一貫教育の9年間を見通した教育課程を編成します。これによって小中一貫教育の推進を図り、児童生徒の学習意欲の向上と中1ギャップの解消を目指します。

【成果指標】各中学校区の小中合同会議の実施回数 【目標値】2回以上

	取組3 放課後サポートスクール事業（より・E土曜塾）【拡充】 これまで中学3年生を対象に実施していた「より・E土曜塾」を、中学1，2年生に広げます。希望する進路の実現と確かな学力の向上を図り、地域を担う人材育成のための放課後サポートスクール事業として、「より・E土曜塾」を実施します。教科は国語、数学、英語の3教科とし、それぞれ50分ずつの授業を対面型、オンライン型、オンデマンド型を組み合わせたハイブリッド形式で展開します。指導力のある講師陣に委託し、少人数グループでのきめ細かな指導を行います。 【成果指標】中学1，2，3年生の参加率 【目標値】中学1，2年生はそれぞれ80%以上、中学3年生は95%以上
	取組4 学習指導研究委嘱 町内の学校から1校に2年間の学習指導の研究を委嘱します。令和5・6年度は用土小学校に委嘱し、2年間の研究の中で授業改善や学力向上に向けた取組を意図的、計画的及び組織的に実施します。先進的な取組を町内の学校に普及します。 【成果指標】研究委嘱中間発表を実施 【目標値】1回
	取組5 中学生社会体験チャレンジ事業 各中学校が職場体験活動として、町内の企業を中心に地域・社会と連携しながら、体験的な学習を効果的に活用し、キャリア教育の充実を図ります。 【成果指標】各中学校での職場体験活動回数 【目標値】1回以上
	取組6 学習支援サポーターの配置 各小・中学校の実態に応じ、学習を苦手とする児童生徒を支援したり、教職員の指導の補助をしたりするなど学習効果を高めるために教員免許所有又は教職経験のある会計年度任用職員を配置します。 【成果指標】全小・中学校における学習支援サポーター配置率 【目標値】100%
	取組7 タブレットを活用した個別学習 すぐにでも、どの教科でも、誰でも活かせる1人1台端末の活用を推進します。授業や家庭学習における個別最適な学びの学習ツールとして活用します。学習アプリケーションソフト等を用い、個人の課題や能力に応じた学習を実施します。 【成果指標】タブレット端末を活用した家庭学習の実施率 【目標値】100%
	取組8 算数検定実施事業【拡充】 これまで小学2，3年生を対象としていた算数検定実施事業を、小学4，5，6年生に広げます。低学年からの算数への興味・関心・意欲を高め、算数力の更なる向上を目指し、町費での算数検定を実施します。検定に挑戦することで、全国規模の問題から算数の基礎的・基本的な力の定着を図ります。 【成果指標】各小学校の各学年における合格率 【目標値】85%
	取組9 中学校探究学習実施事業（寄居ふるさと探究学）【新規】 各中学校において、総合的な学習の時間で学年・学級の枠を取り払った縦割りグループを編成し、ゼミ形式で展開します。「生徒が創りたい寄居のまち」をメインテーマとし、生徒は自身の興味・関心をもとにゼミを選択し、探究的な学習に取り組みます。生徒の学びにおける主体性・協働性をはぐくみ、郷土愛の醸成を目指します。 【成果指標】町長への提言の回数 【目標値】各中学校1回
	取組10 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着【新規】 各小・中学校において、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、育成すべき資質・能力をはぐくみます。また、「より・E春塾」等のオンデマンド型の学習を通して、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させます。 【成果指標】全国学力・学習状況調査結果において全国平均正答率を上回る学校数 【目標値】5校以上

取組1 A L T 派遣事業

各小・中学校にA L Tを配置することで、児童生徒に本物の外国語に触れ親しむ機会を増やし、外国語活動や英語学習、国際理解教育を充実させます。英語に対する興味・関心をより一層高め、中学校の英語教育に滑らかに接続していきます。児童生徒の学習意欲の高揚と家庭学習習慣の定着、学力の向上を図ります。

【成果指標】A L T配置人数 【目標値】2小学校に1名ずつ、1中学校に1名ずつ 計6名

取組2 小学校英語教育推進事業（より・E小学生英語塾）【拡充】

「より・E小学生英語塾」入塾者のうち、希望する児童の英検5級受験を、今年度より無償とします。
「より・E小学生英語塾」を小学6年生対象に実施し、英語に対する興味・関心を高めるとともに、中学校卒業までの英検3級取得につなげます。

【成果指標】町内全小学6年生在籍数にしめる登録率 【目標値】90%以上

取組3 中学校英検無償化事業【拡充】

これまで中学2、3年生を対象としていた中学校英検無償化事業を、中学1年生に広げます。
グローバル化が進む社会において、今後益々英語力の向上が求められています。生徒の意欲と英語力を向上させ、中学校卒業までの英検3級以上の取得を目標として取り組みます。

【成果指標】中学3年生の英検3級以上の取得率 【目標値】45%

取組4 英検対策講座事業【拡充】

これまで中学2、3年生を対象としていた英検対策講座事業を、中学1年生に広げます。
生徒一人一人の目標級取得実現のために、中学3年生は8月末から9月に5回実施し、中学1、2年生は12月末から1月に5回実施します。

【成果指標】実施回数 （目標値）合計10回以上（中3：5回 中1、2：5回）

取組5 中学生海外相互交流事業

寄居町と米国オハイオ州メアリズビル市との交流事業の一環として、グローバル化に対応できる人材を育成するため、毎年中学生を相互に派遣し合う事業を行っています。令和5年度は寄居町内の中学生をメアリズビル市へ派遣します。

【成果指標】派遣回数 【目標値】1回

取組1 キャリア・パスポートの活用

社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力をはぐくむため、児童生徒の学びと将来とのつながりを見通しながら、自らの学びのプロセスを記述したり振り返ったりすることができるポートフォリオ教材としてキャリア・パスポートを活用します。

【成果指標】キャリアパスポートを活用した授業の実施回数 【目標値】各学級3回以上

取組2 1／2成人式、立志式の実施

小学校で1／2成人式（小学4年生）、中学校で立志式（中学2年生）を実施します。将来の夢や目標をもたせ、それぞれが互いに誓いの言葉を発表することにより、自己理解や他者理解を深化させる式を催します。

【成果指標】各小・中学校における実施 【目標値】各小・中学校1回

取組3 夢をはぐくむ講演会事業【新規】

身近な地域の方やそれぞれの道を極めた人物を講師として招聘し、自分の将来について考えたり、社会の中で果たすべき役割とその実現のための努力や取組について考えたりすることで、よりよい生き方を追求する機会とします。

【成果指標】実施回数 【目標値】各小・中学校1回以上

施策6

多様なニーズに対応した教育の推進

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等を
なくそう



取組1 臨床心理士による巡回相談

通常学級において、特別な支援を要する児童生徒に対する支援の在り方について指導助言をし、対象児童生徒の実態に応じた支援の実現につなげます。

【成果指標】巡回相談実施回数 【目標値】各小・中学校2回以上

取組2 通級指導教室の充実【拡充】

これまで小学校のみで開設していた通級指導教室を中学校に新設し、通級する生徒一人一人に合った支援を行います。

通級指導教室では、一人一人に寄り添いながら、「学力の向上」や「対人関係能力の向上」について指導・支援を行います。小学校でのことばの教室では、ことばの発達、発音、話し方、コミュニケーションに関することなど、一人一人の課題に応じた支援を行います。

【成果指標】通級指導教室便り配布回数 【目標値】2回

取組3 幼保小中連携連絡協議会

幼保小・小中の教職員が連携を図ることにより、進学等によって環境が変化する児童生徒へのよりよい支援の在り方についての研究を深め、小1プロブレムや中1ギャップの解消を図ります。

【成果指標】協議会実施回数 【目標値】各小学校で1回 各中学校区で1回

取組4 介助サポーターの配置

インクルーシブ教育の推進として、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を提供するために、特別支援学級、肢体不自由の児童生徒への生活支援を行います。生活支援の補助員として町の会計年度任用職員を配置します。

【成果指標】全小・中学校における介助サポーター配置率 【目標値】100%

基本目標Ⅱ

豊かな心と健やかな体の育成

施策 7

心をはぐくむ教育の推進



取組1 道徳教育の充実

「考え、議論する道徳」の授業実践を通して、自他の大切さを認め、主体的に考え行動し、社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒の育成を目指しています。一人一公開授業や、TTによる授業を行い、道徳的な課題を、児童生徒が自分自身のこととして捉え、主体的に考える力を育てています。また、社会で活躍する町出身の方を題材にした独自教材による授業を全校で実施します。

【成果指標】独自教材による授業実施回数 【目標値】小学5年生から中学3年生までの各学級で1回以上

取組2 「道徳のまち・寄居」道徳講演会の実施

「道徳のまち・寄居」を目指して、小・中学校では、社会において広く活躍されている寄居町にゆかりのある方に焦点をあてた道徳の教材を作り、道徳の授業を行います。また、寄居町健全育成町民会議と共催し道徳講演会を実施し、学校と地域が連携し子供たちの道徳性をはぐくむ環境を整備します。

【成果指標】参加者数 【目標値】1,110人

取組3 「読書通鳥」の活用

「読書通鳥（読書記録帳。通鳥と、「鳥」を使っているのは、町の鳥であるキジを図書館のマスコットキャラクターとしていることによる。）」の活用を一層推進するとともに、家庭での読書の習慣を充実させ、児童の豊かな心をはぐくみます。

【成果指標】読書通鳥100冊達成認定書の発行数 【目標値】330枚

取組4 読書活動の支援

児童の読書活動を支援するため、全小学校へ移動図書館「たまよど号」の巡回を行います。また、自宅に居ながらいつでも利用できる電子図書館の充実に努めます。

【成果指標】移動図書館巡回数 【目標値】各小学校18回

施策 8

いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実



取組1 かわせみ教室による不登校児童生徒への支援

不登校または不登校傾向にある児童生徒が通級する教室であり、心理的な安定や基本的な生活習慣の育成、社会性を身に付けることを重視して指導します。また、個別や小集団での学習や体験活動等を通じて、基礎学力の向上や集団生活への適応力を高めることにも視点をおき、学校復帰を目指します。

【成果指標】不登校児童生徒の学校復帰率 【目標値】20%以上

取組2 いじめ問題対策連絡協議会の開催

学校関係者・警察・行政関係者・主任児童委員で構成されており、いじめ防止対策推進法を中核とし、いじめの早期発見、迅速な対応等について学校間で情報共有を行います。適宜警察等の指導・助言を、学校のいじめ問題に対する指導に活かします。

【成果指標】協議会実施回数 【目標値】2回

取組3 教育サポートセンター事業

幼稚園・保育園と小学校との円滑な引継ぎを図るため、相談員が定期的に幼稚園や保育園を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各小・中学校に提供します。また、子供の成長や子育てに関する保護者の悩みについて、電話相談や来所相談を行います。

【成果指標】対応した保護者の悩み解消率 【目標値】15%以上

取組4 さわやか相談員配置事業

在籍学級での相談室を利用している生徒を対象に相談を受けたり、学習を進めたりします。保護者との面談等も行い、学級復帰に向けて支援します。教育サポートセンター相談員と連携し、課題のある生徒について情報提供・情報共有をします。

【成果指標】相談室を利用している生徒の学級復帰率 【目標値】5%以上

取組5 自殺予防

学校、家庭、関係機関と連携し、児童生徒に寄り添った教育を推進します。夏季休業前の1週間を「命を大切にする週間」として位置付け、道徳の授業等により、命の大切さや心の健康の保持、SOSの出し方等に関する授業を実施します。

【成果指標】自殺予防に向けた道徳授業の実施回数
【目標値】各小・中学校各学級1回以上

施策9

人権を尊重した教育の推進



取組1 人権教育研究委嘱

毎年度、町内の学校から1校に2年間の人権教育の研究を委嘱します。（令和4・5年度は寄居小学校、令和5・6年度は男衾中学校）2年間の研究の中で人権問題を正しく理解し、人権感覚を磨き、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成します。また、指導法や指導内容などを町内の学校に普及します。

【成果指標】研究委嘱発表実施回数 【目標値】1回

取組2 同和教育指導案データ集約と活用

同和問題を人権教育の重要な柱とし、町共通の指導計画の活用や研修を通して、どの教員でも同様に同和問題の授業が計画的・系統的に実施できるようにします。

【成果指標】各小・中学校で同和問題を取り上げる授業の実施回数 【目標値】各校1回以上

施策10

健康の保持増進と体力の向上



取組1 体力向上推進委員会の充実

学識経験者・学校関係者で組織され、児童生徒の健やかな体の育成を図ります。特に各小・中学校や町全体の体力の課題を分析し、その分析結果をもとに体力向上に向けた取組を実施することにより新体力テストの総合評価の目標値の達成を目指します。

【成果指標】新体力テスト総合評価A+B+Cの割合 【目標値】小学校男女90%以上 中学校男女85%以上

取組2 栄養教諭の学校巡回指導による食育の推進

各小・中学校で栄養教諭が巡回指導を実施し、食育の充実を図ります。授業実施対象学年は、小学校、中学校ともに全学年とします。食育に関わる内容を扱うので、教科・領域については、家庭科（技術家庭）、体育（保健体育）、特別活動、総合的な学習の時間を中心とします。

【成果指標】食育に関する授業実施回数 【目標値】70回以上

取組3 部活動指導員の配置

部活動の指導経験が豊富な部活動指導員を中学校に配置することにより、生徒が専門的な技術指導を受けられるようにするとともに、教員の負担軽減を図ります。

【成果指標】配置人数 【目標値】各中学校に1名ずつ

基本目標Ⅲ

教職員の資質向上と教育環境の充実

施策11

教職員の資質・能力の向上



取組1 教員による模擬授業を取り入れた研修会

児童生徒の学力向上に資するために、県教育委員会指導主事等を招聘し、県内外の先進的な学力向上の研究事例・取組の情報提供や学力向上の取組に対する指導・助言を受け、各小・中学校の学力向上の取組の推進を図ります。

【成果指標】県教育委員会指導主事や外部の指導者等の招聘回数 【目標値】2回以上

取組2 人権教育研修会

全教職員を対象として、人権教育講演会や現地研修形式等の人権教育研修会を実施します。研修を通じ、各種人権課題に対する教職員の意識の高揚や人権感覚の育成を図ります。

【成果指標】教職員を対象にした研修会の実施回数 【目標値】2回以上

取組3 体力向上講演会

教職員の体育授業の指導力の向上や体育指導における幅広い知識の習得を目的に、埼玉県の子供生徒の体力向上に実績のある講師を招聘し、小学校教員・中学校保健体育科の教員を対象に講演会を開催します。

【成果指標】体力向上講演会の実施回数 【目標値】1回

取組4 体育実技講習会

埼玉県の各運動領域の研修会に参加した教職員が寄居町の各小・中学校の教員に実技伝達を行います。各運動領域において児童生徒の体力向上・技能習得に効果のある指導技術を知ることによって体育授業の充実を図ります。

【成果指標】実施回数 【目標値】1回

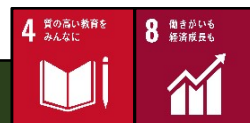
取組5 不祥事防止

寄居町教育委員会作成の教職員不祥事防止資料の配布や埼玉県教育委員会作成の不祥事防止研修プログラムを活用した教職員研修の推進、町内教頭会における管理職対象の不祥事防止研修の実施等により、教職員の不祥事根絶を図ります。

【成果指標】教職員研修会実施回数 【目標値】各小・中学校5回以上

施策12

学校の組織運営の改善



取組1 学校評価の効果的な活用

「教育の質の保障・向上」、「学校運営の改善」、「信頼される開かれた学校づくり」という学校評価の目的を果たすために、学校評価を教職員の自己評価シートの達成目標として活用したり、ICTを活用して実施したりするなど、課題の早期発見・早期解決を図ります。

【成果指標】学校評価実施回数 【目標値】各小・中学校1回以上

取組2 働き方改革の推進

学校における働き方改革を推進するため、町内全ての教職員を対象とした「寄居町立学校における働き方改革基本方針」をもとに実効ある多忙化解消・負担軽減を確実に進め、学校教育の質の維持向上と教職員の健康維持増進を図ります。

【成果指標】時間外在校等時間 月45時間、年360時間を超える教員数 【目標値】30人以内

施策13

児童生徒の安全・安心の確保



取組1 安全教育の推進

児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう各家庭と連携を密にして、いじめを含めた学校事故全般に対して未然防止・早期発見・早期対応を行います。そのために、学校の組織体制や危機管理マニュアル、日頃の児童生徒理解、報告・連絡・相談の徹底等を管理します。

【成果指標】危機管理マニュアルを使用した教職員研修実施回数 【目標値】各小・中学校学期に1回以上

取組2 ホームページを活用した防災・防犯体制の強化

各小・中学校のホームページの「緊急時連絡サイト」を活用し、緊急時に家庭と連携して、安全且つ迅速に児童生徒を家庭に引き渡すことができるようにしています。

【成果指標】「緊急時連絡サイト」を活用した避難訓練の実施 【目標値】1回以上

取組3 食物アレルギーに対応した給食の提供

児童生徒ごとの食物アレルギーについて把握し、その内容に応じ、牛乳の停止や詳細なアレルギー献立の配布を行います。

【成果指標】食物アレルギーによる事故件数 【目標値】0件

施策14

教育環境の整備・充実



取組1 学校施設等の適正な維持管理【拡充】

各小・中学校の照明器具のLED化を実施します。
学校施設個別計画で定めた予防保全型の修繕計画に基づき安全・安心な教育環境を整備します。
また、給食センター施設についても、学校給食の安定供給のため、計画的な施設の改修（機器の入れ替え）を行います。

【成果指標】照明LED化完了学校数 【目標値】8校

取組2 学校施設の長寿命化・集約化の推進【拡充】

城南中学校区の小中学校集約化事業に係る地元住民との合意形成に向け対話を進めます。
男衾中学校校舎長寿命化改修事業については、前年度実施した設計業務に基づき、改修工事に着手します。

【成果指標】城南中学校区集約化・長寿命化事業地元説明会開催回数 【目標値】3回

取組3 第3子以降の給食費無償化

多子世帯の経済的負担を軽減することにより、子育て支援を推進するため、学校給食費補助金を交付します。

【成果指標】学校給食費補助金の広報周知回数 【目標値】町広報誌2回以上

取組4 児童生徒の就学支援の推進

小・中・高校等に就学し、経済的な支援を必要とする児童生徒のいる保護者の方に対して、子供たちが安心して学校生活を送れるよう就学支援・就学相談の充実を図ります。

【成果指標1】就学支援制度広報周知回数 【目標値】町広報誌3回以上

【成果指標2】修学資金制度の広報周知回数 【目標値】町広報誌2回以上

取組5 電子図書館の整備・充実

図書館では、利用者ニーズに応える多様なコンテンツを揃え、電子図書館の充実に努めます。

【成果指標】電子図書貸出数 【目標値】7,000点

施策15

地域と連携・協働した教育の推進

**取組1 小学校巡回企画展の実施**

「主体的・対話的で深い学びの実現」の視点から、毎年度、町内小学校2校が、県立自然の博物館と覚書をかわし、連携して「小学校巡回企画展」（例：昆虫・小動物展等）を実施します。

【成果指標】実施回数 【目標値】小学校2校で1回ずつ

取組2 学校運営協議会の充実

各中学校区において、学校運営協議会委員として地域の代表と学校の教職員で組織します。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進することで、質の高い学校教育の実現を図ります。

【成果指標】協議会のホームページへの掲載回数 【目標値】各中学校区毎に3回以上

取組3 学校応援団推進事業

各小・中学校で地域の方の中からボランティアとして児童生徒の学習活動、安全・安心確保、環境整備などを協力してもらう組織をつくります。学校・家庭・地域が一体となって学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指します。

【成果指標】学校応援団の授業での活用校数 【目標値】9校

取組4 寄居町青少年健全育成町民会議との連携

地域ぐるみの青少年健全育成支援として、地域の方々の参加による青少年の非行・被害防止の呼びかけや啓発物の配布、道徳講演会等を青少年健全育成町民会議と連携して行います。

【成果指標】非行・被害防止キャンペーン参加者数 【目標値】100人

取組5 子どもギネス事業

体力と自己研鑽意欲の向上を目的として、小学校で実施される新体力テストの結果に対し町独自の認定証を交付します。

【成果指標】認定証の交付数 【目標値】 650枚

取組6 投げ方教室の実施【新規】

企業スポーツ部と連携して、全小学校で「投げ方教室」を開催し、ボールの投げ方などの基礎指導を行い、新体力テストでの自己記録更新を図ります。

【成果指標】投げ方教室開催回数 【目標値】各小学校4, 5, 6年の学年毎に1回

取組7 子ども博士検定

寄居町に関する知識を深め、郷土愛をはぐくむとともに、社会、文化、まちづくりなどに対して関心を持たせ、将来的に寄居町の魅力を発信できる人材を育成するため、フィールドワーク等を実施した上で、検定を実施します。

【成果指標】子ども博士人数 【目標値】13人

取組8 日本語教室の実施

令和4年度に発足した日本語教室を地域の関係団体やボランティア等と連携して引き続き実施し、町内に在住、在勤、在学の外国人が安心して日本語を学ぶ環境を整備します。

【成果指標】開催回数 【目標値】20回

施策16

家庭教育支援体制の充実



取組1 家庭教育学級の推進事業【拡充】

令和5年度から中央公民館と連携し、子どもとその同居家族がふれあいながら参加できる家族向けのフィールドワーク等を取り入れた講座を新たに開催します。
家庭やPTAと連携し、家庭教育学級の充実に努めます。

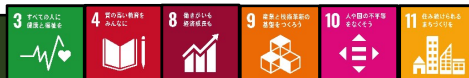
【成果指標】開催回数 【目標値】14回

基本目標 V

生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進

施策17

町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり



取組1 中央公民館運営事業の充実【拡充】

令和5年度は、老朽化した空調設備の更新を見据え、空調設備更新基本設計業務委託を行い、今後の空調設備更新の方針を決定します。

利用者の利便性の向上を図るため、中央公民館、町民ホールに施設予約システムを導入します。

また、多様化する町民の学習ニーズに応じた講座の開催や60歳以上を対象とした「とことん学び塾」を開講します。また町民の関心の高い講師を招き文化講演会を開催するとともに日々の生涯学習の発表の場として、生涯学習まつりを開催します。

【成果指標1】学習講座・講演会の参加者数 【目標値】2,680人

【成果指標2】施設予約システム・空調設備更新基本設計 【目標値】年度内完了

取組2 中央公民館や地域公民館との連携

地域公民館などで開催される運動会、敬老会や健康増進のための体操、ダンス、グラウンドゴルフ、文化芸術分野の様々な教室や講座などの支援を行います。また、令和5年度は、昨年から引き続き20歳を対象とした二十歳式を地域公民館と連携し実施します。

【成果指標】地域公民館講座・二十歳式の参加者数 【目標値】20,800人

取組3 図書館事業の充実【拡充】

図書館は、令和5年度から米国オハイオ州メアリズビル市との交流事業の一環として、メアリズビル市立図書館との交流事業を開始します。お互いの市町の観光や文化、歴史などの本などを送り合い、図書館にメアリズビルを紹介する展示コーナーを設け、メアリズビル市を紹介した本などを展示するとともに、町内外にHPやSNSなどで情報発信を行います。

また、教養、調査研究、レクリエーション等に加え、地域の歴史・産業等に関する図書資料を充実させ、利用者の様々な要求にこたえるべき情報発信の拠点化を図って行きます。また、児童に配布した「読書通鳥」や移動図書館「たまよど号」の巡回、電子図書館の充実などにより、図書館利用促進を図ります。

【成果指標1】貸出点数 【目標値】228,000点

【成果指標2】メアリズビル関係の展示 【目標値】1回

取組4 社会教育施設の維持管理

寄居町施設等総合管理計画による個別計画に基づき、10施設の適切な維持管理に努めるとともに、引き続き社会教育施設の在り方について検討します。

令和5年度は、運動公園の駐車場から野球場等のグラウンドに向かう階段の安全を確保するため、階段改修工事を行います。また、総合体育館・アタゴ記念館アリーナの網戸設置工事や弓道場の畳寄せ工事を実施し畳の交換を行うほか、寄居小学校の夜間照明電柱の安全性を確認する調査業務を実施し、今後の検討のための準備を行います。

【成果指標】運動公園階段改修工事の実施

総合体育館・アタゴ記念館アリーナの網戸設置工事の実施

弓道場の畳寄せ工事の実施

寄居小学校夜間照明電柱調査業務の実施

【目標値】全ての工事や委託業務の年度内完了

取組5 社会教育施設の充実【新規】

令和5年度は、町の施設の管理を一元化し、パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも空き情報の確認や予約ができる「施設予約システム」を導入します。社会教育施設を含む町の施設15か所（中央公民館、町民ホール、男衾、折原、桜沢、西部、鉢形、用土の各コミュニティセンター、生涯学舎、総合体育館・アタゴ記念館、弓道場、運動公園、カタクリ体育センター、寄居町鉢形財産区会館、よりの会館）に導入する予定です。また、導入に際しては、デジタル化が進むことで特に高齢者の利用者が取り残されないよう中央公民館とも連携しながら事前に必要な研修を実施します。

【成果指標】施設予約システムの導入 【目標値】年度内完了

取組6 生涯スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催し、町民の健康増進、スポーツ、レクリエーションの振興に資することによりスポーツを推進します。また、スポーツ少年団や地域公民館事業におけるスポーツ活動等を支援するとともに、スポーツで全国大会出場等顕著な功績があった方に対して、懸垂幕の掲出等で広く内外に周知しその功績を顕彰します。また、町内の企業スポーツや町ゆかりのアスリートを応援し、町民のスポーツ推進の機運を高めます。

【成果指標】町が主催・共催・後援するスポーツ大会数 【目標値】25回

施策18

文化財等の保存整備



取組1 鉢形城歴史館運営事業【拡充】

令和6年度に開館20周年を迎えることから、その準備事業として常設展示室の映像コンテンツを更新します。また、鉢形城の魅力を町内外の人に知ってもらうため、企画展示やイベントを開催します。

【成果指標1】来館者数 【目標値】15,000人
【成果指標2】秋の企画展・常設展示室の映像コンテンツの更新 【目標値】年度内完了

取組2 史跡鉢形城跡保存整備事業

第2期保存整備事業（平成29年度から令和8年度）の一環として伝逸見曲輪の確認調査を継続するとともに、今後の復元整備に向けて、令和4年度までの調査結果に基づき、遺構の時期や性格等の検証を行います。また、成果は現地説明会等を通して公表します。

【成果指標】現地説明会の開催数 【目標値】1回

取組3 文化財の保存活用

町の文化財を後世に伝えるため、重要な文化財を指定し、保存するとともに、伝統文化の継承に努めます。また、開発に伴う埋蔵文化財の調査及び報告書刊行事業を継続して進めます。

【成果指標】指定文化財維持数 【目標値】68件

施策19

芸術及び伝統文化の振興・継承



取組1 芸術文化活動の推進

中央公民館は、日々の芸術文化活動を支援するとともに、活動の成果を発表する場の一つとして生涯学習まつりを開催します。また、中央公民館は、多くの町民が興味を抱く、魅力的な講師を選定し、幅広い年齢層の町民が参加したくなる文化講演会の開催や芸術文化を含む多種多様な講座を開催します。また、芸術文化に顕著な功績のあった方は、町広報等に掲出し広く内外に周知し顕彰します。

【成果指標】生涯学習まつり参加団体数 【目標値】90団体

取組2 地域の伝統行事の保護・継承

地域と連携し、末永く発展的に伝統行事を開催できるよう支援します。

【成果指標】山車修復件数 【目標値】1件

取組3 文化活動団体への活動支援

町内の芸術・文化活動を支援・啓発するため、文化団体の活動を支援します。寄居町教育振興に関する補助金等交付要綱に基づき、文化系の補助対象団体へ補助金を支給します。

【成果指標】補助金支給団体数 【目標値】6団体

施策20

自然資源の保存・継承



取組1 健全な自然環境の保全

モウセンゴケの自生地や氏邦桜など県・町指定の天然記念物を保護・維持します。
(正龍寺玉垂のカエデ、ゴヨウツツジ自生地、ミミカキグサとモウセンゴケ自生地、荒川の青岩礫岩、高野槇、鉢形城の桜・エドヒガン、赤浜中戸のヤブツバキ、塚田三嶋神社のヤブツバキ、姥宮神社の大杉計9件)

【成果指標】県・町指定天然記念物維持数 【目標値】9件